

宝泉寺報

宝泉寺の閻魔大王



編集発行
〒948-0103
新潟県十日町市小泉
水澤山宝泉寺
電話(025)752-2924
印刷/榎みらい

この絵は明治初期に描かれたものです。昭和四十年頃本堂とつながっていた十王堂を取り壊した際天井絵を額に収めたのです。

そもそもなぜ寺院に閻魔さまの絵が飾られてあるのでしょうか

それは、文字を読めない人が多かった江戸時代に、死後閻魔大王が、どんな罪も見逃さない超能力を持っていることを絵で教えていたからです。

閻魔大王の絵の横には地獄図があります。罪が深い人は地獄に送られ想像を絶する苦しみを味わうことを示しています。この絵では、美しく若い女性が天秤にかけられ大きな岩を押し上げています。これは体重ではなく罪の重さで上げているのです。横では鬼が水晶の鏡にかざしています。

すると女人が放火をしている姿が映し出されています。

この人は地獄に送られるのです。

江戸時代は、人類史上最も平和な時代だったと考える学者も多いのです。

閻魔大王の存在があつたかもしれません。

第九回 宝泉寺二千年蓮観蓮会のご案内

日時 平成二十八年七月十八日(月)・祝

午前五時より七時半まで

場所 十日町市小泉 宝泉寺

内容 ①二千年蓮の開花を観察、美しさを愛でる

② 朝茶会 (好日会・吉田小の児童)

③ 謡曲・仕舞 (十日町観世会)

④ 尺八と琴の合奏 (広田公男・登代美夫妻)

⑤ 豊栄舞 (吉田中の生徒)

⑥ 象鼻杯 (蓮の茎を通して日本酒や蜜水を味わう)

会費 一人七百元

宝泉寺二千年蓮を愛し育てる会代議員よりチケットをお求めください。電話でお申し込みの場合には宝泉寺までご連絡ください。当日売りもごさいます。

お問い合わせ ☎025・752・2924

今年のだんごまき



ごらんください! <宝泉寺ホームページ>

「十日町市宝泉寺」と入力して検索すると宝泉寺が出ます。

宝泉寺の歴史
本堂拝観
十六善神
二千年蓮
本葬儀
晋山式
2006年の豪雪
2008年観蓮会
墓地
宝泉寺報 33、32、31、30

第八回 宝泉寺観蓮会

(平成二十七年七月二十六日(月) 午前五時)



歩くのも作法あり



正客は尾身県議会議長



早朝茶会第一席



謡曲と仕舞を味わう



朝日に輝く豊栄舞 (吉田中生徒)



がんばる吉田っ子

本堂天井を洗濯塗装しました



- | | | | |
|-----|-------|------|--------------------------|
| 高田町 | 馬場明男殿 | 二〇万円 | 妻聴登雅春大姉菩提 |
| 小泉 | 佐藤雄一殿 | 三〇万円 | 叔父耕雲利豊居士
和月美照大姉 永代供養料 |
| 桑名市 | 石田信夫殿 | 三〇万円 | 天王上家永代供養料 |
| 日野市 | 酒井紀典殿 | 六〇万円 | 山谷隠居屋家永代供養料 |
| 新潟市 | 酒井イツ殿 | | |

上の池の土手を石垣で補強しました



平成 23 年 7 月 29 日の大雨で決壊寸前の土手



本堂南側の土手



墓地北側の土手



墓地東側の雑木林を整地しました

写真通信



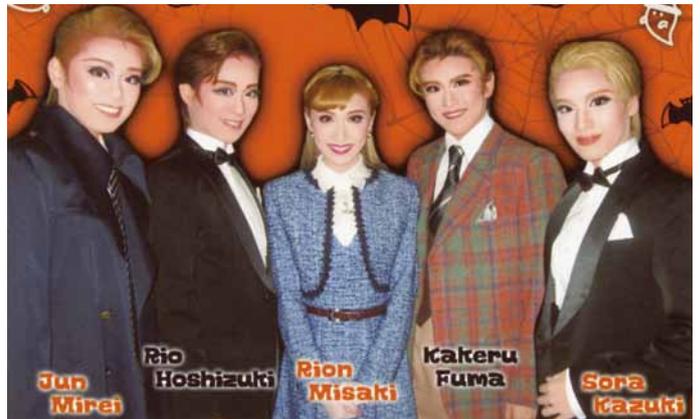
平成28年1月13日 夕日に輝く八海山



11月6日 吉田保育園最後の園児



10月30日 タカラヅカ宙組新潟公演の楽屋にて 星月梨旺さん



中1の時担任をしました



11月17日 吉田小3年生の総合学習「十日町吉田の自慢 宝泉寺」
木魚の音を楽しんでいる



地獄絵図を見て恐がっている



8月5日の施食会の朝の風景



小雪だった今年の冬、蓮池に雪を集めて開花を遅らせる